

最難関問題

2つの単位分数への分解・4

$\frac{1}{2}$, $\frac{1}{3}$ のように分子が1の分数を単位分数といいます。 $\frac{1}{6} = \frac{1}{10} + \frac{1}{15}$ のように、単位分数を2つの異なる

単位分数の和に分解することを考えます。 $\frac{1}{10} + \frac{1}{15}$ と $\frac{1}{15} + \frac{1}{10}$ のように順番を入れかえただけのものは同じ式とします。

(1)

① $\frac{1}{2024} = \frac{1}{13156} + \frac{1}{2392}$ です。 $\frac{1}{13156} = \frac{\boxed{\text{イ}}}{2024 \times \boxed{\text{ア}}}$, $\frac{1}{2392} = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{2024 \times \boxed{\text{ア}}}$

の $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる最も小さい整数の組を答えなさい。

② $\frac{1}{2024} = \frac{1}{4140} + \frac{1}{3960}$ です。 $\frac{1}{4140} = \frac{\boxed{\text{イ}}}{2024 \times \boxed{\text{ア}}}$, $\frac{1}{3960} = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{2024 \times \boxed{\text{ア}}}$

の $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる最も小さい整数の組を答えなさい。

③ ①, ②を通じて, $\boxed{\text{ア}}$, $\boxed{\text{イ}}$, $\boxed{\text{ウ}}$ の間に成り立つ式を答えなさい。

(2) $\frac{1}{2024}$ を2つの異なる単位分数の和に分解する式は, (1)(2)で示した2つもふくめて,

全部でいくつありますか。



最難関問題

2つの単位分数への分解・4

- (1) ① $\boxed{ア} = 13, \boxed{イ} = 2, \boxed{ウ} = 11$ ② $\boxed{ア} = 45, \boxed{イ} = 22, \boxed{ウ} = 23$ ③ $\boxed{ア} = \boxed{イ} + \boxed{ウ}$
 (2) 31個

(1)

① 13156と2392の最小公倍数は、右の連除法から求めることができます。
 $2024 = 2 \times 2 \times 2 \times 11 \times 23$ なので、
 $4 \times 13 \times 23 \times 11 \times 2 = 2024 \times 13$ ですから、 $\boxed{ア} = 13$ です。

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 13156 \quad 2392} \\ \underline{4} \\ 13 \overline{) 3289 \quad 598} \\ \underline{12} \\ 23 \overline{) 253 \quad 46} \\ \underline{23} \\ 11 \quad 2 \end{array}$$

13156は、(13156と2392の最小公倍数) ÷ 2なので、 $\boxed{イ} = 2$ 、
 2392は、(13156と2392の最小公倍数) ÷ 11なので、 $\boxed{ウ} = 11$ です。

② 4140と3960の最小公倍数は、右の連除法から求めることができます。
 $2024 = 2 \times 2 \times 2 \times 11 \times 23$ なので、
 $4 \times 9 \times 5 \times 23 \times 22 = 2024 \times 45$ ですから、 $\boxed{ア} = 45$ です。

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 4140 \quad 3960} \\ \underline{4} \\ 9 \overline{) 1035 \quad 990} \\ \underline{9} \\ 5 \overline{) 115 \quad 110} \\ \underline{10} \\ 23 \quad 22 \end{array}$$

4140は、(4140と3960の最小公倍数) ÷ 22なので、 $\boxed{イ} = 22$ 、
 3960は、(4140と3960の最小公倍数) ÷ 23なので、 $\boxed{ウ} = 23$ です。

③
$$\frac{\boxed{イ}}{2024 \times \boxed{ア}} + \frac{\boxed{ウ}}{2024 \times \boxed{ア}} = \frac{\boxed{イ} + \boxed{ウ}}{2024 \times \boxed{ア}} = \frac{1}{2024}$$
なので、 $\boxed{ア} = \boxed{イ} + \boxed{ウ}$ です。

(2) (1) の $\boxed{イ}$ と $\boxed{ウ}$ は互いに素なので、 $\boxed{イ} + \boxed{ウ}$ である $\boxed{ア}$ も、 $\boxed{イ}$ や $\boxed{ウ}$ と互いに素です。さらに、

$$\frac{\boxed{イ}}{2024 \times \boxed{ア}} \text{も } \frac{\boxed{ウ}}{2024 \times \boxed{ア}} \text{も約分すると単位分数になるので、} \boxed{イ} \text{と} \boxed{ウ} \text{は} 2024 \text{の約数です。}$$

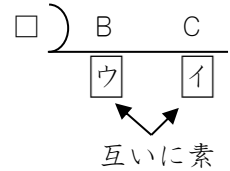
こうして、 $\boxed{イ}$ と $\boxed{ウ}$ が互いに素な2024の約数であれば、

$$\frac{\boxed{イ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} \text{も } \frac{\boxed{ウ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} \text{も単位分数であり、}$$

$$\frac{\boxed{イ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} + \frac{\boxed{ウ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} = \frac{\boxed{イ} + \boxed{ウ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} = \frac{1}{2024} \text{が成り立ちます。}$$

最難関問題

逆に、 $\frac{1}{2024} = \frac{1}{B} + \frac{1}{C}$ のとき、右の連徐法によって求められる B と C の



最小公倍数を D とすると、 $\frac{1}{B} + \frac{1}{C} = \frac{\boxed{イ}}{D} + \frac{\boxed{ウ}}{D}$ なので、 $\frac{\boxed{イ+ウ}}{D} = \frac{1}{2024}$ である

ことから、 $D = 2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})$ です。 $\frac{1}{2024} = \frac{\boxed{イ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})} + \frac{\boxed{ウ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})}$

において、 $\boxed{イ}$ と $\boxed{ウ}$ が互いに素であることから、 $\boxed{イ}$ と $\boxed{ウ}$ は $\boxed{イ+ウ}$ とともに互いに素なので、

$\frac{\boxed{イ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})}$ 、 $\frac{\boxed{ウ}}{2024 \times (\boxed{イ} + \boxed{ウ})}$ が約分して単位分数になるのは、 $\boxed{イ}$ と $\boxed{ウ}$ が 2024 の

約数の場合です。こうして、 $\frac{1}{2024} = \frac{1}{B} + \frac{1}{C}$ が成り立つときには、それに対応する 2024 の互いに素である約数の組が存在します。

こうして、2024 の互いに素な約数の組の数だけ、2つの単位分数への分解が存在します。

2024 の約数は、

1, 2, 4, 8, 11, 22, 23, 44, 46, 88, 92, 184, 253, 506, 1012, 2024 の 16 個です。この中で互いに素な組み合わせは、

1 と $\square \cdots \square = 1$ 以外の 15 個, 2 と $\square \cdots \square = 11, 23, 253$ の 3 個,

4 と $\square \cdots \square = 11, 23, 253$ の 3 個, 8 と $\square \cdots \square = 11, 23, 253$ の 3 個,

11 と $\square \cdots \square = 23, 46, 92, 184$ の 4 個, 22 と $\square \cdots \square = 23$ の 1 個,

23 と $\square \cdots \square = 44, 88$ の 2 個,

となるので、和を求めて 31 個です。